



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー  
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

## 第1542回 例会 2023.9. 22(金)曇

米山梅吉記念館合同例会

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

裾野ロータリークラブ会長 鈴木義一君



会長 岡 良森君

閉会点鐘の前に一言挨拶と裾野RC SAA様からご指示頂きましたので、少しだけお話をさせていただきます。

本日の卓話 杉山様 ありがとうございます。  
知らないことがあまりにも多く、大変勉強になりました。

また、冒頭の鈴木会長のご挨拶の中で、先週行われた米山記念館での秋の例大祭には、私も参加させていただきました。お話の通り、東京RCの大きな応援のもとに運営されていることは、認識しておりましたが、参加者には青森や広島等、まさに全国から参集したロータリアンの集いであったことに感動致しました。その皆様のお出迎えをしている運営委員会に当クラブの矢岸パスト会長が委員長として活動していたことをご紹介します。

それでは。閉会の点鐘をします。チン



今日の例会は、せせらぎ三島ロータリークラブ様との合同例会です。

一週間を振り返りますと、

- 16日(土)米山梅吉記念館秋の例祭に出席  
県内外から多数の出席ありました。  
副理事長から元気な長泉町の紹介  
記念講演 講師 リチャード・ダイク氏(東京RC)  
演題「元RI財団奨学生 日本から何を学ぶか？」

- 18日(月)敬老の日  
私のところは、自治会長さんから紅白饅頭のお祝いがありました。

65歳以上の高齢者は、総人口に占める割合29%世界一  
80歳以上方は、10人に一人と日本は、長寿大国です。

- 20日(水)秋の彼岸入り  
お団子やおはぎ、ぼたもちを作って仏壇に供え、先祖を供養し墓参りをします。

彼岸花の生命力はすごいですね。(時機が到来するとパッと咲いて彼岸が明けるとパッと散る)

由来—お萩 秋 ハギの花咲く季節に食べるので(粒あん)  
牡丹餅 春 ボタンの花咲く季節に食べるので(こしあん)

- 21日(木)秋の全国交通安全運動実施  
運動の重点

子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保  
夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶  
自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底  
追突・出会い頭事故の防止  
又、規制緩和で7月1日から電動キックボードは、免許不要になりました。

それでは、よろしくお祈いします。

### 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	27/36	75.00%	28/36	77.80%
今回	22/34	64.70%	会員総数	38名

### 欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、大庭君、小島君、小林君、鈴木君、杉橋君、  
土屋(和)君、土屋(巧)君、野村君、服部君、吉村君、渡辺君  
(\*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君 中村君 山本君)

## 卓話

### 社会福祉協議会とは

社会福祉法人 裾野市社会福祉協議会  
会長 杉山千恵君(裾野RC)



皆様今日は。裾野ロータリークラブ会員であり、かつ裾野市社会福祉協議会会長の杉山千恵です。宜しくお願いいたします。社会福祉協議会、略して「社協」とは、社会福祉法第109条に基づき、全国、都道府県、市区町村を単位に設置され、地域福祉の推進を使命とし「公共性」「自主性」を併せもつ、民間の社会福祉団体です。また市町村社協はそれぞれが社会福祉法人格を有しており、地域の特性に合わせ独自の事業を展開しております。

#### 社協の成り立ち

社会福祉協議会は、昭和26年、戦後の混乱期中、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の政策により、民間の社会福祉活動の強化をはかるために全国および各都道府県に発足しました。その後、さらに福祉活動への住民参加と、共同募金運動を地域で支える民間組織の強化等を目的として、各市町村においてもその組織化が進められていきました。

#### 経営理念

- ①地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- ②誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現
- ③地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- ④地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創出
- ⑤持続可能で責任ある自立した組織経営

#### 事業紹介

1.地域福祉活動事業 2.在宅福祉活動事業 3.共同募金配分金事業 4.市受託事業 5.障がい福祉サービス事業 6.介護保険事業 皆様にご存知の事業のみ紹介いたします。

#### 地域福祉活動事業で紹介「みんなの家」事業

この事業は「シングルペアレント応援事業」という事業のメニュー項目として追加しています。

シングルペアレントとはシングルマザー、またはシングルファザーの家庭のことで、本会では昨年よりこのような家庭、かつ収入が低い一定の家庭を対象に、月2回の配食、2ヶ月に1回の生活用品の配布(オムツ、ハブラシ、歯磨き粉、洗濯洗剤、食器用洗剤など)をしています。

現在13件の家庭を支援しています。同時にシングルではないけれど、生活に困窮する世帯を対象に弁当の配布を同じように月に2回職員が届けており、こちらの事業は現在19世帯36人の子どもへ配食を行っております。

この事業は現在、共同募金の配分金を活用し実施しており赤い羽根の募金が困窮されている世帯への支援としてつなぐ仕組みとなっています。

#### 地域福祉活動事業「住民参加型在宅福祉サービス」事業

この事業は、会員制による有償ボランティアが日常生活上の困りごとを「お互いさま」の気持ちでお手伝いすることで解決する仕組みのものであります。簡単に言いますと、一人暮らし高齢者で足が悪くゴミステーションまでゴミ出しに行けない人の困りごとを、本会職員が仲介し、お手伝いして下さる方を調整して派遣するといったものです。(主にご近所の方)昨年度は、ゴミ出しや庭の草取り、話し相手など252件のボランティアを派遣することができました。(卒業したけど裾野高の生徒)

#### 「すその高齢者施設芸術祭」

社協の生活支援コーディネーターが主となり、市内の高齢者施設の利用者の生きがいの創出と施設の利用者の理解を図ることを目的に年に1度芸術祭を開催しています。各施設の職員が実行委員として携わっております。この事業は、第1回から裾野ロータリークラブ様の後援をいただき以降継続して協賛をいただいております。毎年15の施設の約100名の方から作品のエントリーがあり、市長賞やロータリークラブ賞など沢山の賞を設け表彰式を行い、直接賞状を受賞された高齢者様へお渡しさせていただいております。本年度も12月9日(土)から1週間程度、裾野市生涯学習センター1F展示ホールで行う予定です。最後に

裾野市社協では、子どもから高齢の方対象の福祉事業を展開しています。そして本年度、新たな事業として

①市内一人暮らし高齢者80歳以上を対象に、残暑見舞いを郵送いたしました。537人へ郵送。届いた方から電話や手紙を多くいただくことができ大変喜んでいただくことができました。

②市内一人暮らし高齢者88歳の米寿祝い品の贈呈事業を現在行っており、対象者のお宅へお祝い品を地域の民生委員と本会スタッフが届けている最中であり、25名程。

認知症等による徘徊の恐れがある方を対象とした事業。早期発見を目的にQRコードのシールを 着ている服などに貼り付け、不審に思った発見者がQRをスマホでかざすことでご家族にメールが届き専用の掲示板にて発見者とご家族がやりとりできるシステムの導入をはじめました。

この仕組みは本来多くの市町行政がサービスを導入し展開しているものであり、社協がシステムを導入するケースは初めてのことだそうです。市役所で対応できないものでも、住民が安心できる仕組みとして他市町でも導入例があるサービスですので導入を決めました。もちろん運用も本会が行い、心配されるご家族の相談に応じてサービスの利用につなげています。これら新規事業は県社会福祉協議会からの助成金を活用し実施しています。

社協は地域の特性にあった様々な事業を行っています。詳細はお配りしましたパンフレットにて確認いただき、より詳しい情報は本会のホームページにて事業報告や決算、事業計画や予算等掲載していますので是非一度覗いてみて下さい。またFacebookには順次活動の様子を掲載しておりますのでそちらもご覧くださいませ。これからも継続して地元の社協に対するご理解とご協力を心からお願いして私の卓話を終わらせていただきます。



#### スマイルボックス

杉山千恵君(裾野RC)、卓話をしますので聞いてください!

岡良森君:裾野RCの皆様、本日はよろしく申し上げます。